



国連「持続可能で強靱な観光国際年」セミナー

2026年9月26日 12:40-14:00

地域の持続性とレジリエンスを高める観光をめざして

— 和歌山大学観光学部

観光学部・大学院観光学研究科 加藤久美



和歌山大学観光学部とは

■ 21世紀のリーディング産業・戦略産業
観光を多方面からリードできる人材の必要性

■ 国立大学唯一の観光学部

■ 日本における観光学研究・教育の拠点

2007年 和歌山大学経済学部観光学科設置

2008年 和歌山大学観光学部設置

2016年 国際観光学研究センター（CTR）設置

2016年 学部改編（2学科制→1学科3コース制→**2026年～1学科（コース制廃止）**）

2017年 **UN Tourism TedQual**認証取得（国内初～2020, 2023, 2026年更新）

2023年 観光学研究科博士前期課程・後期課程・専門職学位課程





和歌山大学観光学部での学び

■観光学科

■3つの学問領域を土台として、分野横断的に観光について学ぶ

⇒学問領域を架橋して新しい知を生み出し、複雑な現代社会や観光の課題解決や発展のためのイノベーションを牽引する

■観光者としての感性の涵養

観光経営領域
地域再生領域
観光文化領域

+

Global Program (任意)





Love your place. Share it with the world.

出会いと感動を創造し、
人と、地域と、世界とつながる



Love your place Share it with the world



持続可能でレジリエントな地域づくり

リジェネラティブ・ツーリズム

観光：「光」～守り、より輝かせる



地域

- 環境基盤～共有資源の価値（コモンズ）
- 共同体制～責任（事業者・来訪者・地域）
- 観光資源～ビジョン



地域の伝統的価値観・知恵・技術の価値再確認

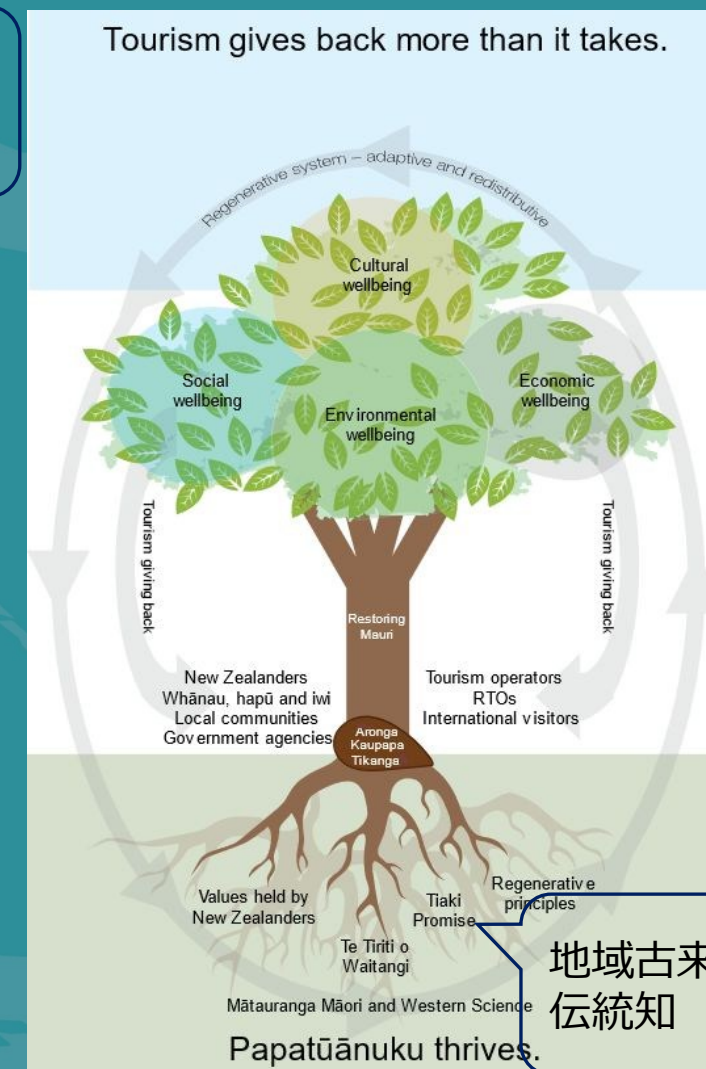
- 自然環境との共生の理念、技（伝統産業）
- 地域独自の文化、表現、ことば
- 環境・社会変化への対応



観光地域の環境・社会・経済をより良く

- 地域社会・文化をより良く理解・深く体験
- 地域社会・経済・環境にプラス効果・還元責任ある観光
- 訪問者、事業者、管理者（地域住民）
- 地域への貢献・環境配慮、循環

Tourism for Good
より良い社会のための
観光



地域古来の
伝統知



教育プログラムの特色

■ 地域で、世界で、学生が躍動！ 実践型教育プログラム

■ 現場での学びを通じたジェネリックスキルの形成

- ・ 国内外の地域を対象とした「実践型教育プログラム」により、現場での学びを通じた
総合的な課題解決力の育成を目指します

LPP

地域連携プログラム
Local Partnership Program

地域と協働して、地域の魅力や
課題解決の道を探る

GPP

海外連携プログラム
Global Partnership
Program

世界を学び、実践を通じて、
国際感覚を磨く

TAPP

観光実践展開プログラム
Tourism Advanced
Practice-based Program

専門知を実践へつなぐ



地域連携プログラム

LPP

■ 地域と協働して、地域の魅力や課題解決の道を探る

- 和歌山県内、大阪府南部の市町村等との連携・協働によるプログラム
- 2種類のLPP
 - ①「**連携教育LPP（通称：Lゼミ）**」：観光学部の教育カリキュラムの一環として、教員と受け入れ地域が連携して活動計画を作成し、学生を募集して活動を実践する【単位認定あり／1-2年生対象】
 - ②「**学生主導LPP（通称：L活）**」：学生が主体となり、地域と連携しながら活動を実践する【単位認定なし】

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	計
件数	6	8	3	4	11	5	10	15	21	19	13	14	16	21	19	18	17	18	20	258
延べ人数	42	46	18	24	80	73	139	191	227	217	190	194	209	231	210	189	155	155	175	2,765
実人数	33	45	17	23	68	69	122	169	196	190	179	188	196	218	201	184	152	146	159	2,555



地域連携プログラム（Local Partnership Program, LPP）

■ 2026年度実施プログラム 一覧 （20件／2026.6.10現在）

和歌山市	ーサッカークラブを活用した地域活性化ー アルテリーヴォ和歌山と学生がつくる地域共創プロジェクト	すさみ町	コモンの再生 Second Step『過疎地の子どもたちに開く 文化部を通して、観光の新たな意義を思考しよう！』～人生とい う未来を考える、絵を教えない美術クラブ「すさみ未来部」
紀の川市	紀の川市のフルーツを活かした商品開発	大阪府貝塚市	観光の視点で地域産業の魅力を発信する実践型プログラム ー泉州オープンファクトリーへの参画を通じてー
海南市冷水地区	冷水浦うみぎわ活性化プロジェクト ー海の生業・浜の生活の創生ー	大阪府阪南市	阪南市の観光振興と魅力発信
有田市	有田空き家再生プロジェクト	和歌山市南海和歌山 市駅周辺地区 L	まちなかの地域資源と公共空間を活用した和歌山市駅前の まちづくり
有田川町沼地区	沼に沼ろう！ ～地域×学生による棚田保全活動及び地域資源の発掘と発信～	和歌山市雑賀崎 L	雑賀崎の観光スポットの情報発信と空き家の利活用
有田川町清水地域	観光・関係人口創出を通じた農ある里山暮らしへの着地	海南市下津町大崎 L	アクティビティを楽しみながら、地域の魅力を考え、 地域内外に伝える
広川町	古民家活用を起点とした広川町の魅力発信と関係人口創出に 向けた実践的検討	紀美野町小川地域 L	棚田を耕し、未来を拓く：学生と地域が共創する観光デザイン
日高川町美山地域	山・川・里に根ざした美山の郷土食文化を未来へつなぐ： 食文化の継承と地域学習・体験プログラムの共創	有田市宮原町【L】	青みかん（摘果みかん）の価値を上げる
美浜町	美浜町の魅力発信と観光誘客	田辺市龍神村 L	地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化
上富田町	学生力と地域力で創造 & 磨き上げ！地域交流コンテンツ	田辺市上秋津地区 L	上秋津を五感で味わうフェノロジーカレンダーづくり



海外連携プログラム

GPP

■世界を学び、実践を通じて、国際感覚を磨く

- ・ 現地の人々との交流や海外大学でのキャンパスライフ、文化交流など多彩なプログラムを通して、世界の観光に触れ、観光の新しい視点を身に付け、「観光とは何か」「世界とは何か」を体験として学ぶ。
- ・ 海外の連携大学などと共に取り組むエリアスタディなどを通じて、よりハイレベルな課題解決力の育成を目指す。

■2026年度実施プログラム (2026.6.10現在)

■フィールドワーク (2年生以上)

和歌山大学 (オンライン+国内)	Leadership and Management in the Hospitality Industry * College of the Desertとの連携
フィンランド・ラップランド	Sustainable Nature cultures and Multispecies Future (SuMu) * フィンランド・University of Laplandとの共同
スペイン・アラゴン州ウエスカ県	ピレネー地域における観光 * アラゴン州ウエスカ県 (スペイン) 旅行会社 enDESTINO 連携



熊野古道を歩く (Heritage tourism)

熊野古道中辺路

TAPP



《学びのフォーカス》

- 精神文化と環境保全・観光
- ライフスタイル移住と観光事業（宿・ガイドなど）
- 宿と地域
- 歩くツーリズムの可能性

《参加大学》

- * **スペイン**：サンチャゴ大学 バジャリッド大学
- * **フィンランド** ラップランド大学
- * **デンマーク** コペンハーゲンビジネス大学
- * **オーストラリア** NSW大学 QLD大学
- * **ニュージーランド** オタゴ大学 ウェリントン大学
- * **アメリカ** サリズベリー大学
- * **カナダ**：アルバータ大学

2027年1月8-11日



* 復興と再生

1. 観光戦略・企画支援

- ・ 人流調査「Youは何しに大熊へ？」
- ・ 動画制作
- ・ 地域イベント支援
 - ・ 夏祭り、ふるさと祭り、ゼロフェス・学園祭、3.11メモリアル

2. 観光のまなざし勉強会

3. Okuma Tourism Academy (2027.3.3-7)



地域と共に学ぶ
地域と生きる

大阪大学福島拠点観光班

ToLoc

ToLoc トロック

福島県大熊町の関係人口づくりを目指して、大阪大学や和歌山大学、福島大学の学生や社会人メンバー約30名で、様々な活動をしています！



大熊町観光研修 復興交流イベントおおくま学園祭 なつ祭り in おおくま2025





2. サステナブルな宿泊をハブとする高付加価値な観光地域づくり

《学びのフォーカス》

- 高付加価値：持続可能性、歴史・文化の継承、地域連携、観光による地域貢献
- 現地活動
 - Survey 123を活用したマップづくり
 - 聞き取り調査（地域の歴史、精神文化、文化財）
 - E-bikeによる街道体験
 - 地域の食文化（料理教室）
 - 持続可能なホテル認証（Green Key, EarthCheckなど）
- 連携：Satoyama Villa 本陣（扉ホールディングス）

ジャパンツーリズムアワード
観光庁長官賞 2024
地域共創ウェルネスツーリズム



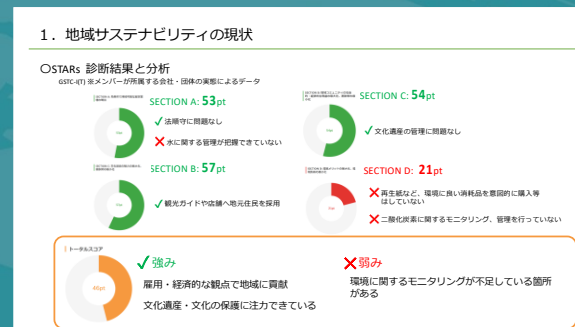
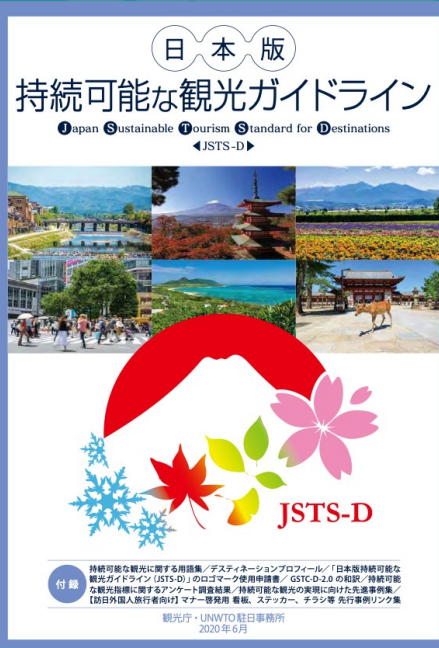
持続可能な観光地域づくり・観光地域経営



GISによるマッピング

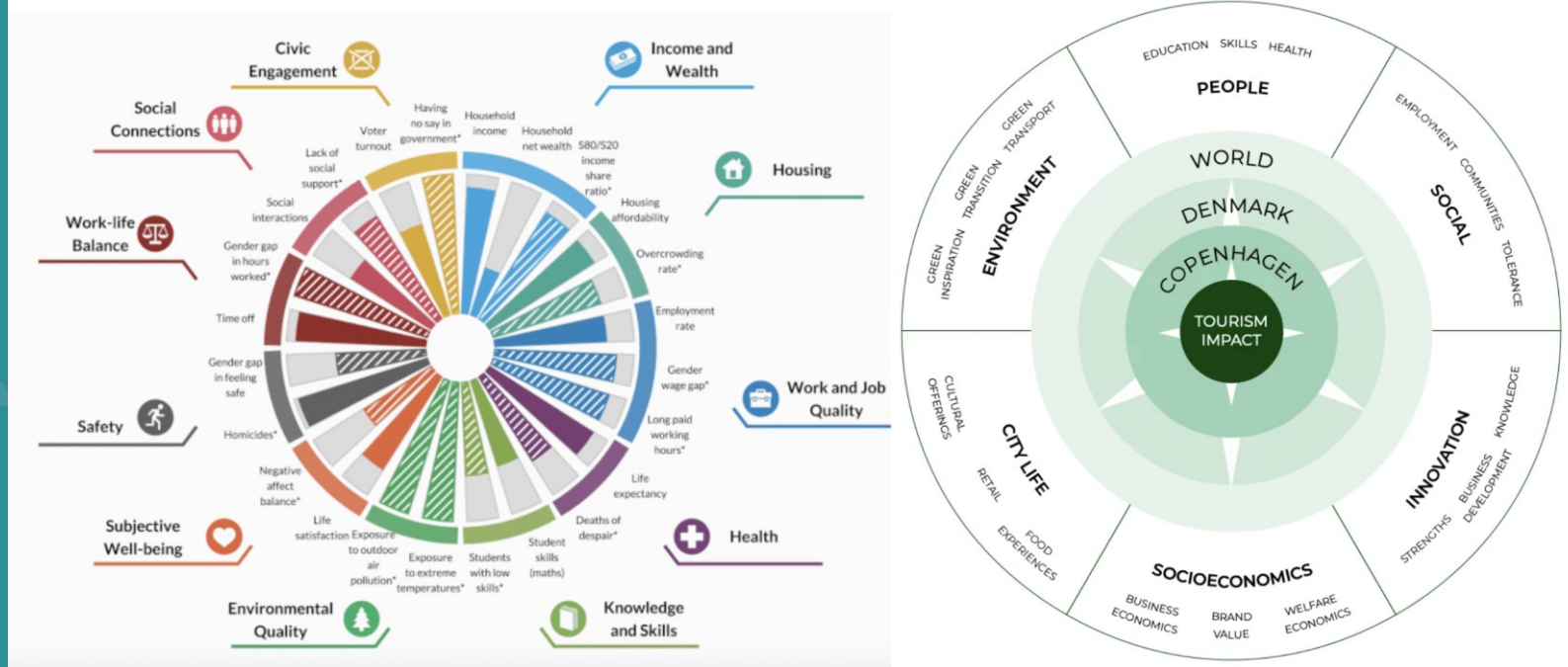
《ガイドラインを活用した持続可能な観光地域づくり》(科目)

- Sustainable Destination Management (U/M)
- 観光倫理と持続可能性 (専門職大学院)





Destination Wellbeing



- Inter-agency and Expert Group on SDG Indicators (IAEG-SDGs)
- UN Standard for Measuring Tourism
- Statistical Framework for Measuring the Sustainability of Tourism



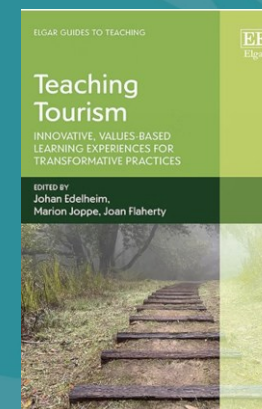
Copenhagen Compass <https://online.fliphtml5.com/kcuku/ytfd/#p=28>
GDS-Index <https://www.gds.earth/index/> EarthCheck <https://earthcheck.org/>
OECD https://www.oecd.org/en/publications/how-s-life-2024_90ba854a-en.html



観光学シンポジウム 2026.10.30-31@和歌山大学

「感性・共感性を高める観光教育実践と観光地管理」

- 10月30日
- **基調講演 1**「楽しむ力」をテーマに、現代社会における「共感力」の意味とそれを観光教育においてどう育むことができるか」（仮）山田良治教授（大阪観光大学学長）
- 10月31日
- **基調講演 2**「価値論を基盤とする観光教育の実践と可能性」（仮）
Prof Johan Edelheim(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院)
- **パネルディスカッション**「感性・共感性を高める観光教育実践の試みとリジェネラティブ・ツーリズムへの接続」（仮）
- 教育実践
 - 和歌山大学
 - ラップランド・北海道大学
- リジェネラティブ・ツーリズムの実践
 - 地域の理念「土徳」を基盤とする観光理念での DMO、砺波平野の「散居村」の取り組み（株式会社水と匠）
 - 世界自然遺産やんばるの森の保全と活用（一般社団法人 大宜味村観光協会）





TEJ コレクションステージ (東3ホール)

地域と自然を豊かにする観光の未来 — 和歌山大学観光学部の挑戦

日時 : 2026年9月26日 (土) 14時40分～15時10分
会場 : TEJコレクションステージ (東3ホール)

登壇者 : 観光学部・大学院観光学研究科 加藤久美
観光学部生、大学院観光学研究科博士前期課程院生
有田翔栄 清野健太郎 岡本呼春 西田千鶴

*地域ウェルビーイングを高める観光、リジェネラティブ、ネーチャーポジティブ・ツーリズムなどの考え、メディアやAI活用など日々進化する観光を学問として学べる講義、学生からは地域や産業と連携して取り組んでいる活動などを紹介します。

